

平成20年のはじめに

地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター

理事長 井上 滉

イノベーションが産業を活性化させる、東京の企業にも、地域産業の現場にも、イノベーションの旋風を起こす、地域資源の活用高度化、地域資源の横展開、グローバルな視点での活用、国を挙げての活動が始まりました。イノベーション25（2025年までを視野に入れた長期的戦略）、イノベーション・スーパーハイウェイ構想は、技術・研究開発牽引型産業構造、社会経済構造の構築です。

いうまでもなくモノづくり現場では、イノベーションは常に念頭にあって、改良改善の連続です。しかし、もっと視点を広げ、複数の視点での知識を融合し、新たな革新的な価値を見出そうというのが、このイノベーションです。



「10年後の東京～東京が変わる～」を掲げた東京都の産業戦略も、都市資源を活用したイノベーションによる産業創造を謳っています。世界に向け、東京都が新しい産業の都市モデルを構築し、これを示すことを目指しています。

自社のコア技術とは何かを見極め、新たな視点との融合により、さらに新しい知識と価値を生み出すことで、この取り組みは創造の連鎖で次々と進化します。

都産技研は、イノベーションを後押しする支援を、今後一層強めていきます。都産技研の東京イノベーション・ハブは、さまざまな学問技術分野や産業分野の多くの知識が交わり融合する「場」と考え、産産、産学、産学公、産学官公のたまり場、知識融合の泉を提供します。そのために、区部と多摩地区に新たな最新鋭の機能を備えた施設整備をすすめています。

そして、モノやサービスを作り出す側の発想ではなく、その受け手へどのような価値がもたらされるかを考えることにしたいと思います。

都産技研は新たに「都産技研憲章」を定めました。産業を担う東京の中小企業を科学技術で支え、すべての人々の生活に貢献することを使命とします。そして、都民の皆様へスピードとサービスの質の向上の提供、事業化・製品化の支援を当センターの運営の方針として引き続き進めてまいります。都民の皆様を大事なお客様として接してまいります。今年もいっそう、知識と技量の質を高め、都民の皆様にご喜んでいただき、頼りにされるようになりたいと思っています。

また、埼玉県、千葉県、神奈川県との1都3県によるワンストップサービス「首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ」支援も強化していきます。首都圏にまたがる企業の方の実情に合わせて、いっそう利便性を高めていきたいと思っています。

愛される都産技研、感謝される都産技研、尊敬される都産技研を目指します。